

# 愛知東邦大学 シラバス

|                    |         |                             |    |
|--------------------|---------|-----------------------------|----|
| 開講年度(Year)         | 2020年度  | 開講期(Semester)               | 前期 |
| 授業科目名(Course name) | 人間健康特講Ⅱ |                             |    |
| 担当者(Instructors)   | 西尾 敦史   | 配当年次(Dividend year)         | 1  |
| 単位数(Credits)       | 2       | 必修・選択(Required / selection) | 選択 |

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

地域共生社会論 「地域共生社会」とは、現代社会の人々の暮らしの変化を踏まえ、制度・分野ごとの『縦割り』や「受け手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を目指す福祉政策の目標であるが、社会保障や産業など、幅広い領域を超えてつながり、協力していくことが期待される。授業では、こうした問題意識を共有しつつ、国内、諸外国のさまざまな地域や組織、ネットワークにおける実践事例に学び、現代社会における意義と可能性について考察する。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

|                     |   |
|---------------------|---|
| 授業形態(Class form)    | 講義  |
| 授業の方法(Class method) | 講義を中心にすすめるが、各回の課題（ワーク）テーマについてアイディア出しのグループワークを行ったり、意見発表や共有のためのディスカッションを行う。 |

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

| 回数(Num) | テーマ(Theme)               | 内容(Contents)   | メディア区分(Media) |
|---------|--------------------------|--|---------------|
| 第1回     | 地域共生社会とは何か？ ガイダンス        | 地域共生社会の理念、目標、政策課題について概観する。   | □             |
| 第2回     | 社会福祉法人による地域共生の経営事例       | 「社会福祉法人 佛子園（石川県）の「シェア金沢」を取り上げて、「ごちゃまぜ」のコミュニティづくりの取り組みについて事例研究する。   | □             |
| 第3回     | コミュニティビジネスとその経営          | 「マルタのやさしい刺繍」を題材に、コミュニティを基盤に住民が主体となったコミュニティビジネスとその経営について学ぶ。   | □             |
| 第4回     | 女性が働きやすい雇用環境             | 「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定を受けた「くるみん認定企業」を題材に取り上げ、女性が働きやすい雇用環境をつくるマネジメントについて学ぶ。                                 | □             |
| 第5回     | 危機管理の実際～パンデミック           | インフルエンザなどの感染症、化学汚染、放射能汚染など、国境を越えて急速に拡大し、人々の健康に重大な影響を及ぼす事案に対してWHOなどによる対処の実際について学ぶ。                            | □             |
| 第6回     | コミュニティデザイン事例研究1～コンパクトシティ | 市町村の中心部に居住地や都市機能を集積することによって、市街地の活性化や行政コストの削減を図り、住民の利便性を向上させようとする都市計画実践を学ぶ。                                   | □             |
| 第7回     | コミュニティデザイン事例研究2～離島振興     | 地方創生、離島振興という課題に対して新しいツーリズムのあり方として「現代アート」を取り入れたプロジェクトを実践している瀬戸内の離島の実践経験を事例研究する。                               | □             |
| 第8回     | コミュニティデザイン事例研究3～サードプレイス  | サードプレイスとしての「居場所」を地域コミュニティを創り出す試みとして、「まちの縁側」（延藤安弘）の実践の広がりについて学び、コミュニティカフェなどの意義についても考える。                       | □             |
| 第9回     | コミュニティデザイン事例研究4～古民家再生    | 古民家リノベーションによる地域活性化・まちづくり事例をとおして学ぶ。   | □             |
| 第10回    | シェアリングエコノミーの実際（近年の広がり）   | 古くて新しい「シェア」の価値観と近年の世界的な広がり、経済としての拡大の最新状況について概観する。  | □             |
| 第11回    | 他人と暮らす（シェアハウスの現在）        | シェアハウスが広がってきており、空き家を活用したシェアハウスは、「地方創生」にも貢献できる。「多世代共生型シェアハウス」の試みも広がってきており、シェアハウスの現状と課題について学ぶ。                 | □             |
| 第12回    | シェアリングエコノミー各論（1）空間のシェア   | Airbnb：インバウンドの旅行・観光の拠点として利用が広がっているAirbnbは、空き部屋や不動産等の貸借をマッチングするオンラインプラットフォームである。Airbnbの経済効果、私たちの家計への効用について学ぶ。 | □             |

|      |                          |  |                          |
|------|--------------------------|--|--------------------------|
| 第13回 | シェアリングエコノミー各論 (2) 移動のシェア | Uber : Uberは、スマートフォンやGPSなどのICTを活用し、移動ニーズのある利用者とドライバーをマッチングさせるサービスで、欧米や中国で飛躍的に広がっている。Uberの経済効果、地域ニーズへの効用について学ぶ。 | <input type="checkbox"/> |
| 第14回 | 空き家の利活用の展開               | 空き家が増加しており、資源として有効な利活用が期待されています。コミュニティのつながりづくり、地域経済の活性化につながっているリノベーションの事例を学習する。                                | <input type="checkbox"/> |
| 第15回 | 授業のふりかえりとまとめ             | 授業全体をふりかえり、地域共生社会の意義や可能性についてまとめる。  | <input type="checkbox"/> |

#### ■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

各回の授業の課題テーマに関して、配布資料を参考に、書籍、メディアやインターネットなどで情報を収集し、関連する知識を得ておく（2時間）。各回の授業後、課題テーマに対する意見共有・ふりかえりを踏まえて、自分自身の意見・見解をまとめておく（2時間）。

#### ■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回の授業の課題テーマに関する意見発表・全体での共有・ふりかえりを踏まえて、コメントを行う。次週の授業において、次のテーマへの関連する視点やポイントについて提示する。

#### ■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

| 区分(Division) | DP区分(DP division) | 内容(DP contents)                         |
|--------------|-------------------|---|
| 知識・技能        | ◇ 2019人間健康DP1     | 地域共生社会に関する専門的知識と実践的能力を身につけている。          |
| 主体性          | ◆ 2019人間健康DP3     | 地域共生社会の多様な価値観を有し、幅広い知識とスキルとともに地域貢献ができる。 |

#### ■成績評価(Evaluation method)

| 筆記試験(Written exam) | 実技試験(Practical exam) | レポート試験(Report exam) | 授業内試験 (in-class exam) | その他(Other) |
|--------------------|----------------------|---------------------|-----------------------|------------|
|                    |                      | 50%                 | 20%                   | 30%        |

#### 授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

各回の授業の課題テーマに対する意見・感想の記述

#### ■テキスト(Textbooks)

| No. (No.) | テキスト名など(Text name) | ISBN(ISBN) |
|-----------|--------------------|------------|
| 1         | 授業で提示する。           |            |
| 2         |                    |            |
| 3         |                    |            |
| 4         |                    |            |
| 5         |                    |            |

#### ■参考図書(references books)

| No. (No.) | テキスト名など(Text name)                           | ISBN(ISBN) |
|-----------|--|------------|
| 1         | 小熊 英二 (2012) 「社会を変えるには」講談社現代新書               |            |
| 2         | 宮本太郎 (2017) 「共生保障：“支え合い”の戦略」岩波新書             |            |
| 3         | 小熊英二 (2019) 「日本社会のしくみ 雇用・教育・福祉の歴史社会学」講談社現代新書 |            |
| 4         |  |            |
| 5         |  |            |